

まちづくりの基本理念及び将来像について (素案)

平成 27 年 3 月

目 次

1. キーワードの抽出	1
(1) 前提となるキーワードの抽出	1
(2) 市民等の意向によるキーワードの抽出	2
(3) 抽出されたキーワードの分布イメージ	11
2. まちづくりの基本理念	12
案1：現行計画踏襲型	12
案2：市民意向反映型	13
3. 将来像	14
案1：キーワード抽出型	14
案2：イメージ共有型	15

1. キーワードの抽出

(1) 前提となるキーワードの抽出

① 現行計画のキーワード

現行計画の基本理念・将来像	キーワード
【基本理念①】「交流」のまちづくり	交流、元気 環境、協働 自然、歴史 観光
【基本理念②】「元気」のまちづくり	
【基本理念③】「環境」のまちづくり	
【基本理念④】「協働」のまちづくり	
自然と歴史を活かした観光・交流都市	

② 国の動向「総合戦略」から抽出されるキーワード

まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的な考え方	キーワード
・人口減少と地域経済縮小の克服	住みやすさ、定住 安心、子育て 活力、交流、協働
・まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立	

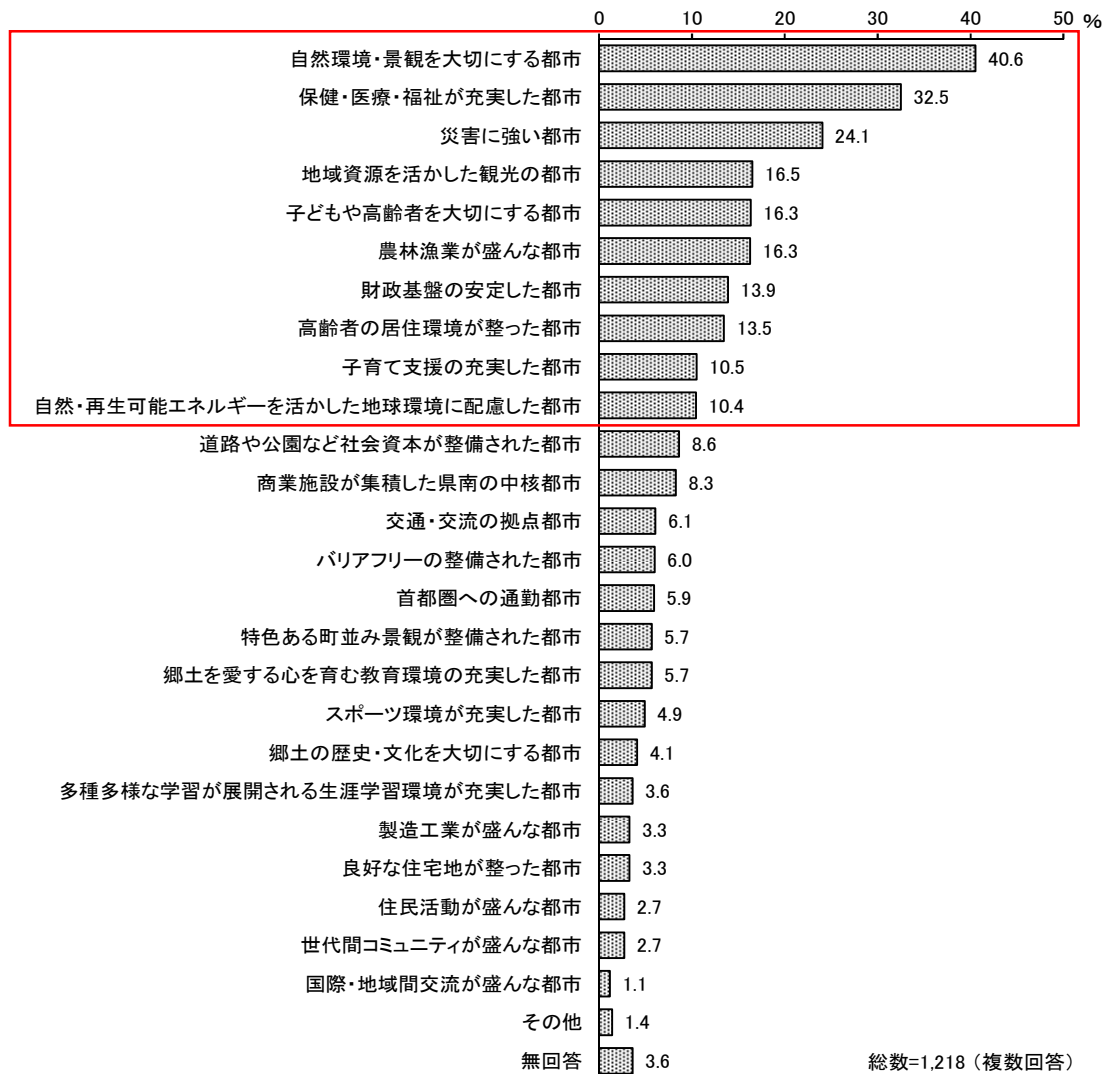
③ 市長ヒアリングによるキーワード

ヒアリング内容	キーワード
・美しい自然、充実した医療・福祉環境、伝統ある文化と歴史、多様な観光資源など、本市の強みである豊富な地域資源を活かし、住んで良かった、来て良かったと思えるまちを目指し、産・学・民の各界・各層と一丸となって取り組んでいきたい。 ・本市ならではの高品質な農林水産物のブランド化や6次産業化の促進など、地域に根差した産業振興施策に取り組んでいきたい。 ・総合運動施設をはじめ、県南でもトップクラスのスポーツ施設を有する強みを活かし、スポーツを通じた交流に資する取組みを推進していきたい。 ・子育て支援などの少子化対策や雇用の場の確保など、人口減少に対する施策を積極的に推進していきたい。 ・本市の地域特性を活かし、「健康づくり」、「福祉」、「介護」といった施策には力を入れていきたい。 ・(仮称)鴨川プラチナタウン構想の趣旨に合致する施策として、「日本版CCRC」の導入に向けた検討に取り組んでいきたい。	自然、医療、福祉、文化、歴史、観光、協働、ブランド、6次産業、スポーツ、交流、子育て支援、雇用、健康、介護、高齢者、定住

(2) 市民等の意向によるキーワードの抽出

【市の将来イメージ】

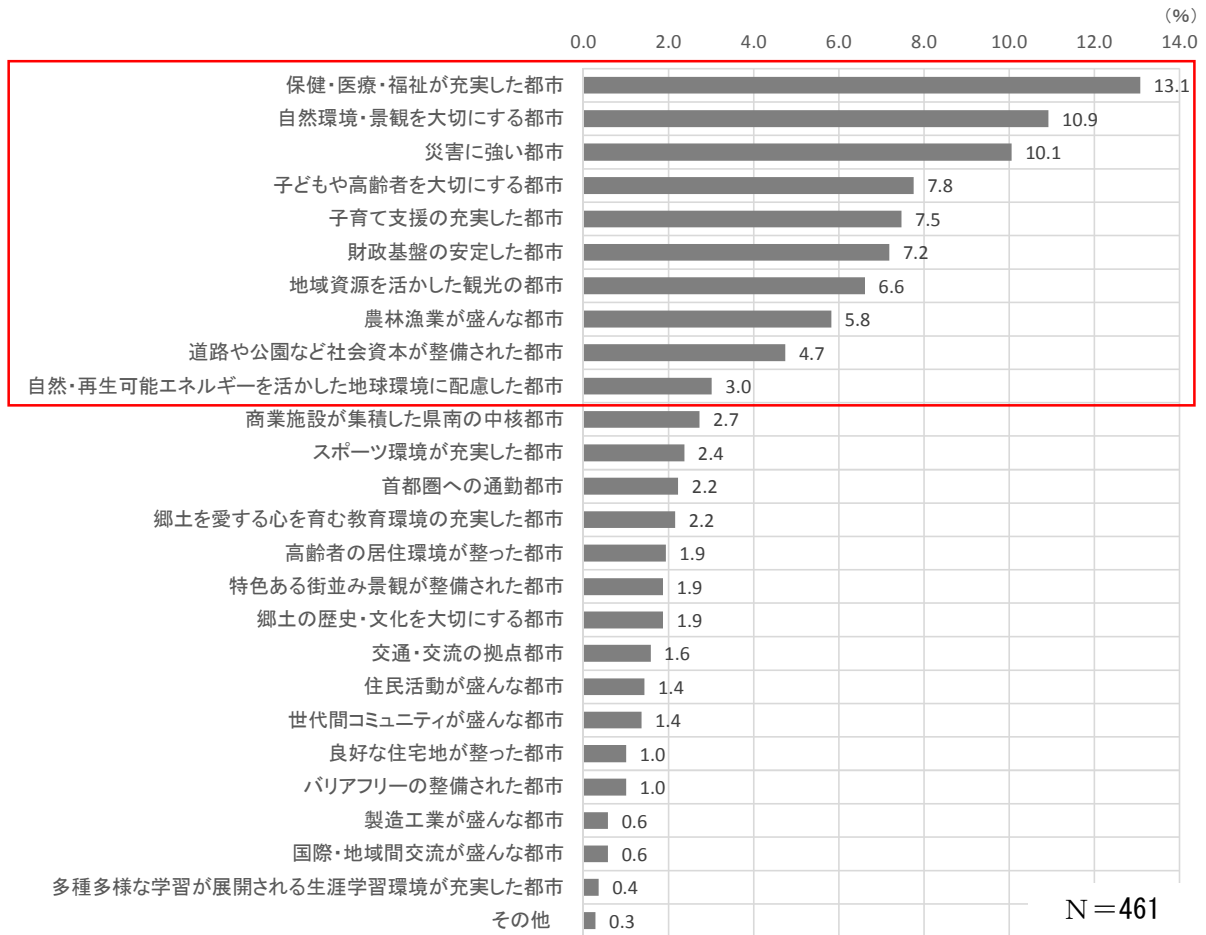
①鴨川市まちづくりアンケート調査結果（市の将来イメージ）



【キーワードの抽出】

想定されるキーワード			
1	自然、環境、景観など	6	農林漁業、農商工連携、6次産業など
2	健康、保健、医療、福祉など	7	財政基盤、健全な行財政運営など
3	災害、防災、自然災害、地震など	8	居住環境、バリアフリー、ユニバーサルデザインなど
4	観光、交流、地域資源、誘客など	9	子育て支援
5	子ども、高齢者、地域コミュニティなど	10	エネルギー、温暖化、地球環境など

②鴨川市職員アンケート調査結果（市の将来イメージ）

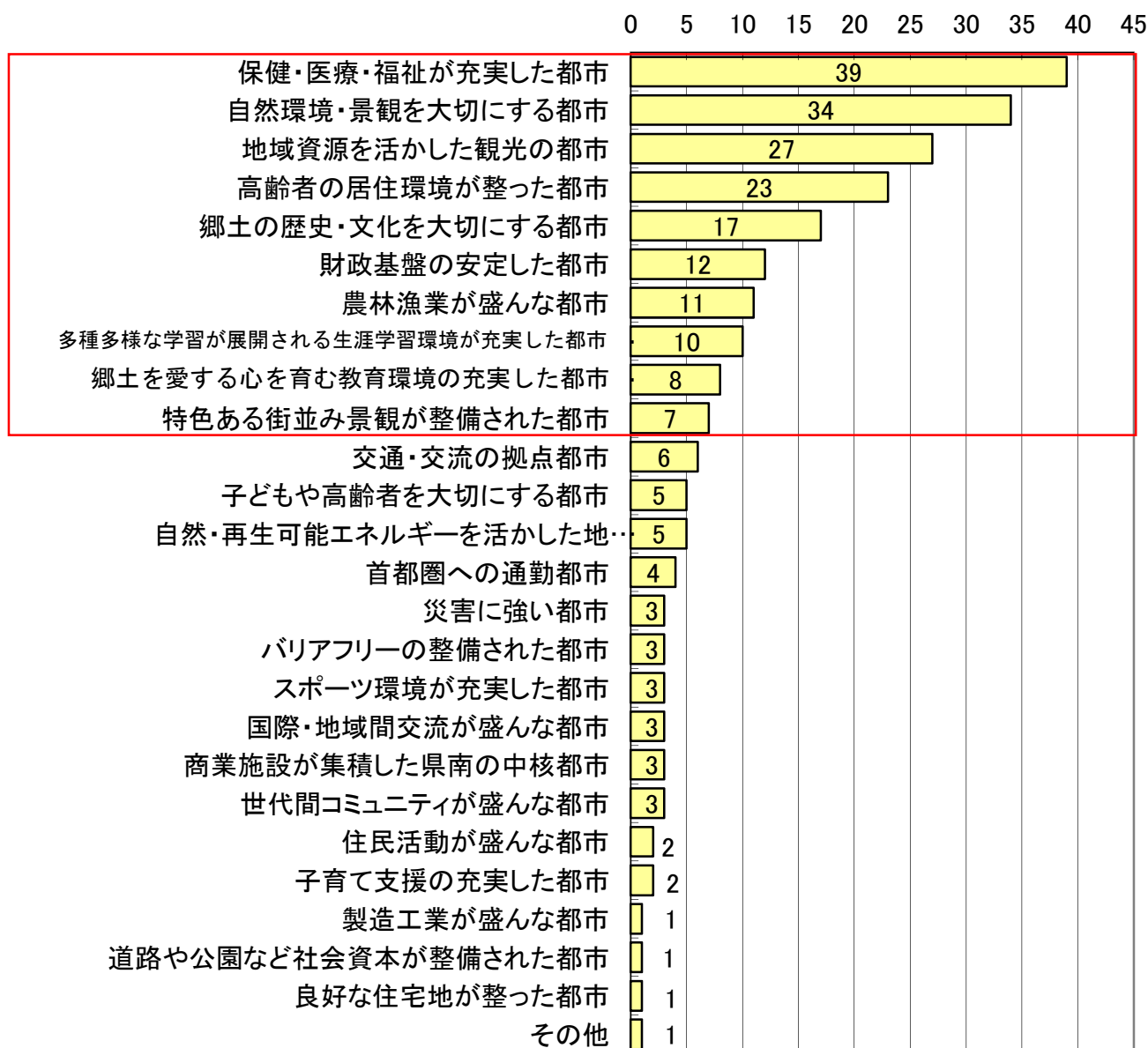


【キーワードの抽出】

想定されるキーワード			
1	健康、保健、医療、福祉など	6	財政基盤、健全な行財政運営など
2	自然、環境、景観など	7	観光、交流、地域資源、誘客など
3	災害、防災、自然災害、地震など	8	農林漁業、農商工連携、6次産業など
4	子ども、高齢者、地域コミュニティなど	9	道路、公園、社会資本、生活環境など
5	子育て支援	10	エネルギー、温暖化、地球環境など

③鴨川ふるさと会会員アンケート調査結果（市の将来イメージ）

将来イメージ(n=82)

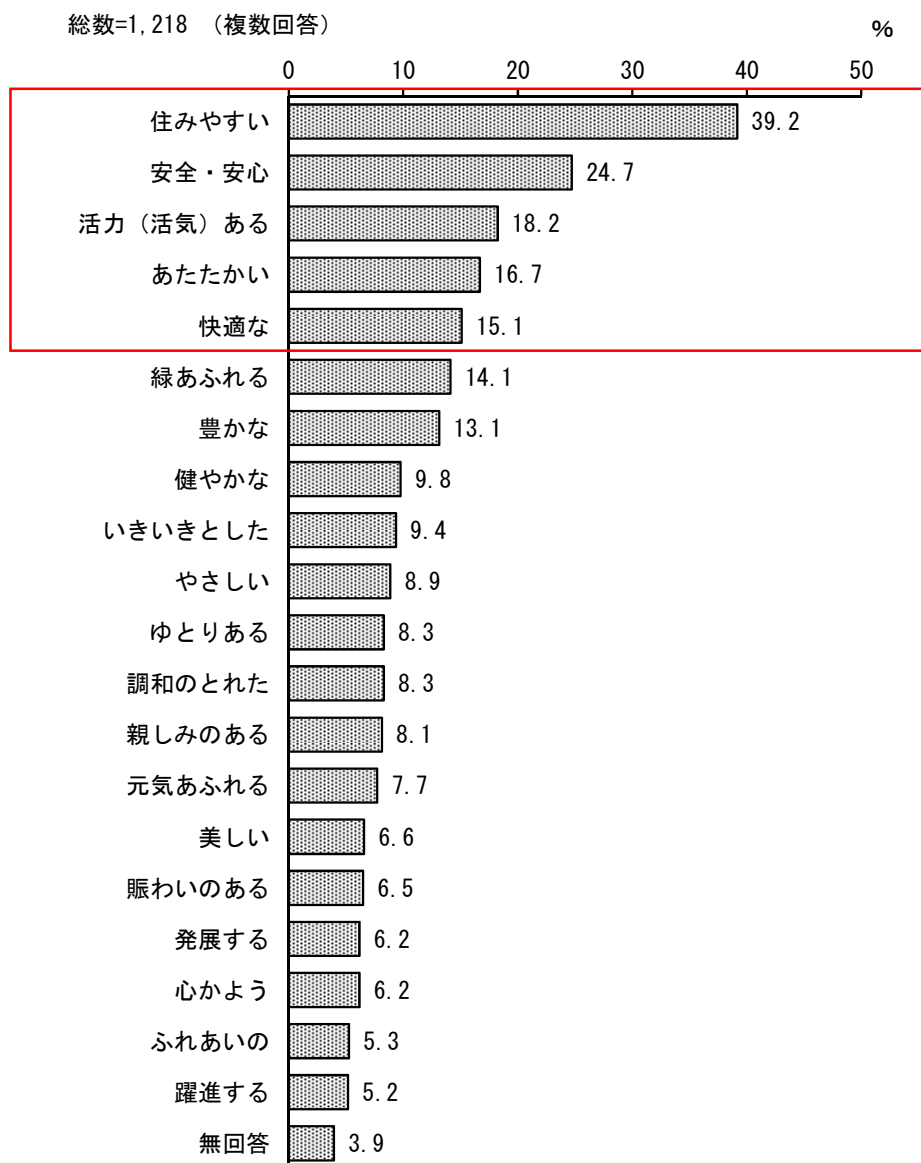


【キーワードの抽出】

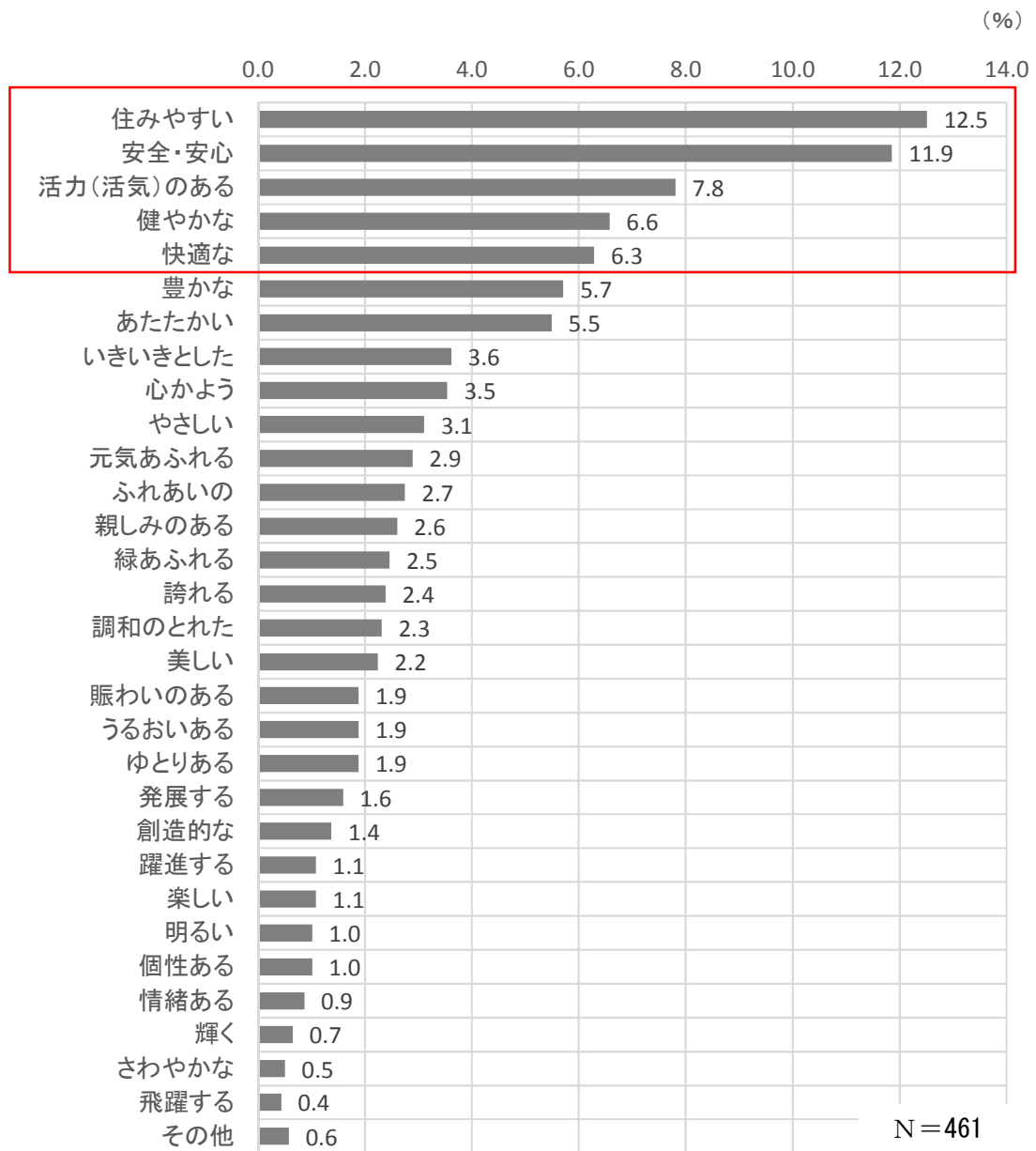
想定されるキーワード			
1	健康、保健、医療、福祉など	6	財政基盤、健全な行財政運営など
2	自然、環境、景観など	7	農林漁業、農商工連携、6次産業など
3	観光、交流、地域資源、誘客など	8	生涯学習、高齢者
4	居住環境、バリアフリー、ユニバーサルデザインなど	9	教育環境、郷土愛
5	歴史、文化、文化財	10	街並み、景観

【将来像にふさわしいキーワード】

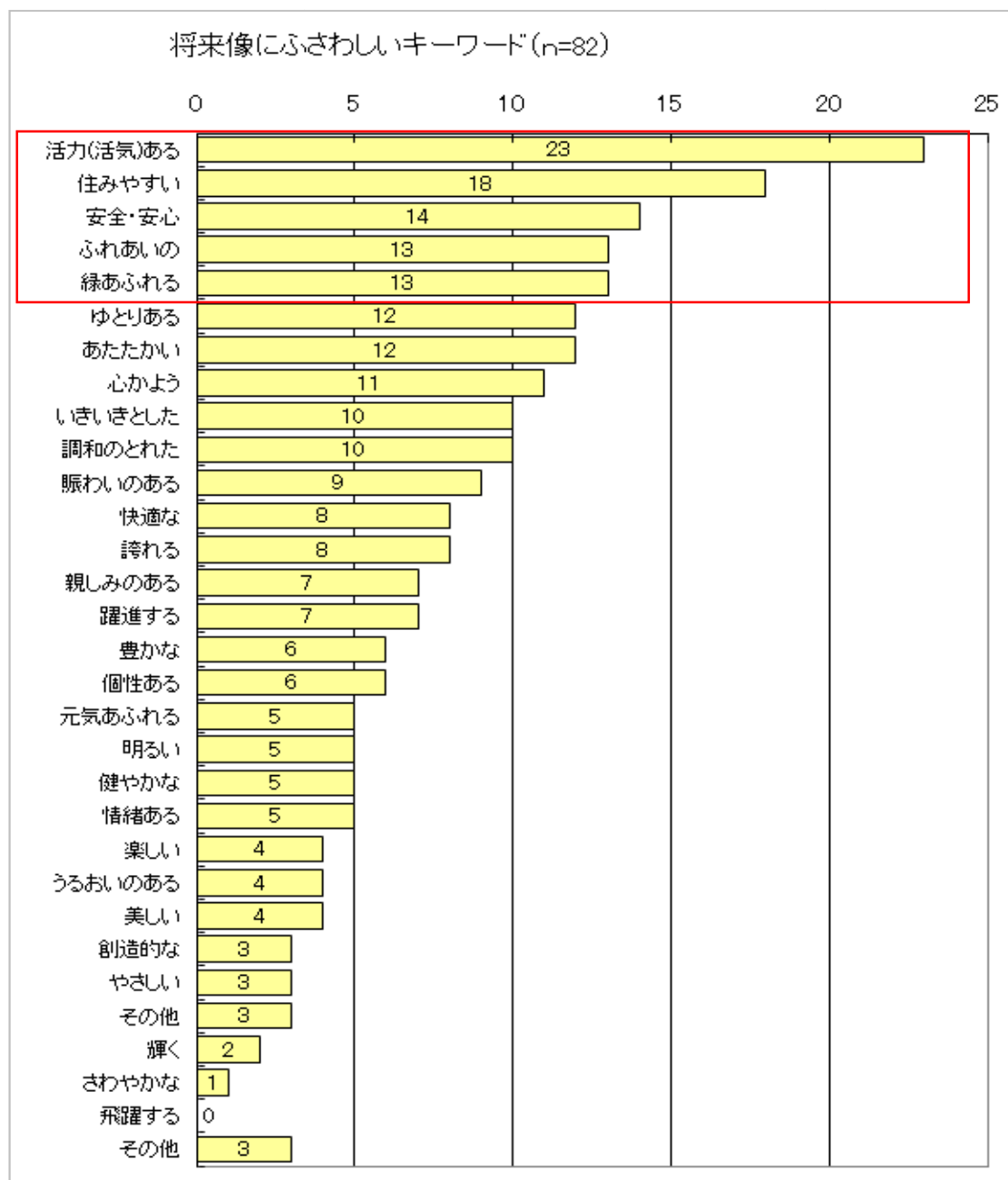
①鴨川市まちづくりアンケート調査結果（将来像にふさわしいキーワード）



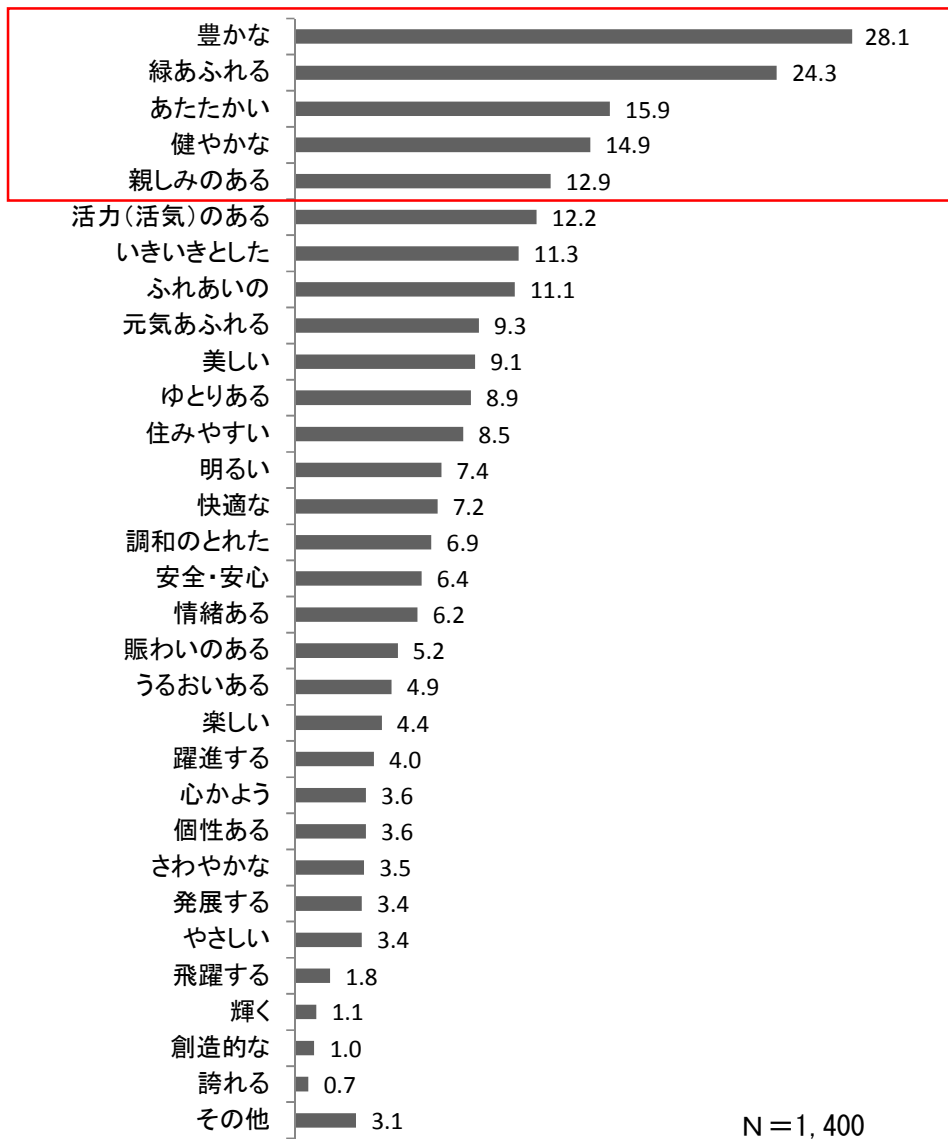
②鴨川市職員アンケート調査結果（将来像にふさわしいキーワード）



③鴨川ふるさと会会員アンケート調査結果（将来像にふさわしいキーワード）



④鴨川市ウェブアンケート調査結果（将来像にふさわしいキーワード）



【キーワードの抽出】

調査対象	キーワード（上位5つ）
市民	住みやすい、安全・安心、活力ある、あたたかい、快適な
市職員	住みやすい、安全・安心、活力ある、健やかな、快適な
鴨川市出身者	活力ある、住みやすい、安全・安心、ふれあいの、緑あふれる
市外居住者	豊かな、緑あふれる、あたたかい、健やかな、親しみのある

【10年後の鴨川市に向けてのキーワードの提案】

①まちづくり市民会議による提案

第1回まちづくり市民会議により、各グループから「10年後の鴨川市に向けてのキーワード」は以下のとおり提案されました。

【グループ1】

提案内容	説 明
合併（安房地域全体で）	数年前にあった安房郡の合併を再度見直し、地域を統一できれば良いのではないか。
人口増	全てのラウンドにおいてネガティブな意見が出たが、その原因は人がいないことに起因するとの共通の認識があった。10年後に人口が増えている鴨川をイメージしようとすると、若者が農漁業等に取り組める環境づくりが大事なのではないか。
観光	人口が少ない本市にとって観光客は大事にしなければならないとの思いから、より良い観光地を創出していくべきであると考えます。まずは、市民が行動することが大事ではないか。

【グループ2】

提案内容	説 明
国際化	2020年の東京オリンピック開催が見込まれる中で、多くの訪日外国人を呼び込んでほしい。
地産地消（6次化）	本市は農業・漁業が盛んであることから、第1次産業・第2次産業・第3次産業の連携により、市域で採れたものを市域で消費しようとするのが重要なのではないか。
子育てがしやすい	子育てがしやすい環境であれば、若者の定住が促進され、少子化の改善につながると思う。

【グループ3】

提案内容	説 明
地産地消（1次～6次）	10年後の鴨川市では、市域で採れた野菜や魚等は出来る限り地元で消費されていてほしい。
感幸（観光）	本市を来訪された皆さんにお金を使ってもらおうというよりも、いかに満足していただけるかが重要である。「観光」ではなく「感幸」とした理由は、美味しいものを食べていただく、素晴らしいものを見ていただくことに限らず、市民全体でおもてなしをすることが必要であり、それにより幸せを感じていただきたいという意味が含まれている。
ヤングタウン	シルバータウンなどはマイナスのイメージが先行するため、都会の若者にとって本市は若いまちだと感じていただけるような、「ヤングのまち」を作ろうという意味である。

【グループ４】

提案内容	説 明
住みたい街づくり	住んでいる市民の方々が満足するまち、住んでいない方々が本市に住みたいと思うまちづくりとして、満足度の高いまちづくりを目指していこうという意味である。
元気	元気と活気と生き生きとしたまちというイメージを吹き込んでいくことが重要である。若さ溢れる元気なまちを目指そうという意味である。
医と観光で職場作り	資源の集中と選択ということで、資源を最大限に有効活用し、今あるもの（市の強みである医療と観光）に磨きをかけていこうという意味である。

【グループ５】

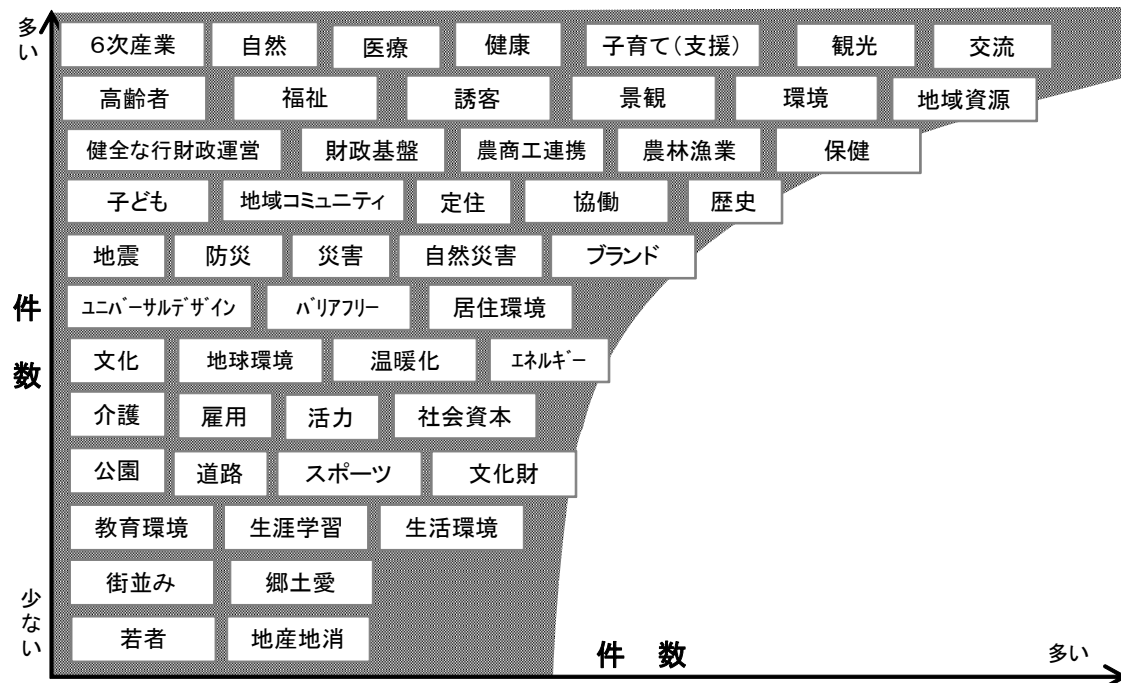
提案内容	説 明
人口を増やす	外を歩いていると食べ物をおすそ分けしてもらえるとといった、本市の良さを市外にPRすることが重要である。そのためには、市民が「鴨川の魅力」を知ることが大切である。
鴨川ブランド	仕事を創出するために、今ある鴨川の資源をうまく活かしていくことが求められる。例としては市の産品をブランド化するなどが挙げられる。
健康長寿	健康長寿を目指し、高齢者にも適度に働いてもらい、老後を全うしていただきたいという意味である。高齢者は仕事から離れると途端に衰えてしまうものなので、出来る限り元気に働いていられるような環境づくりが求められる。

【キーワードの抽出】

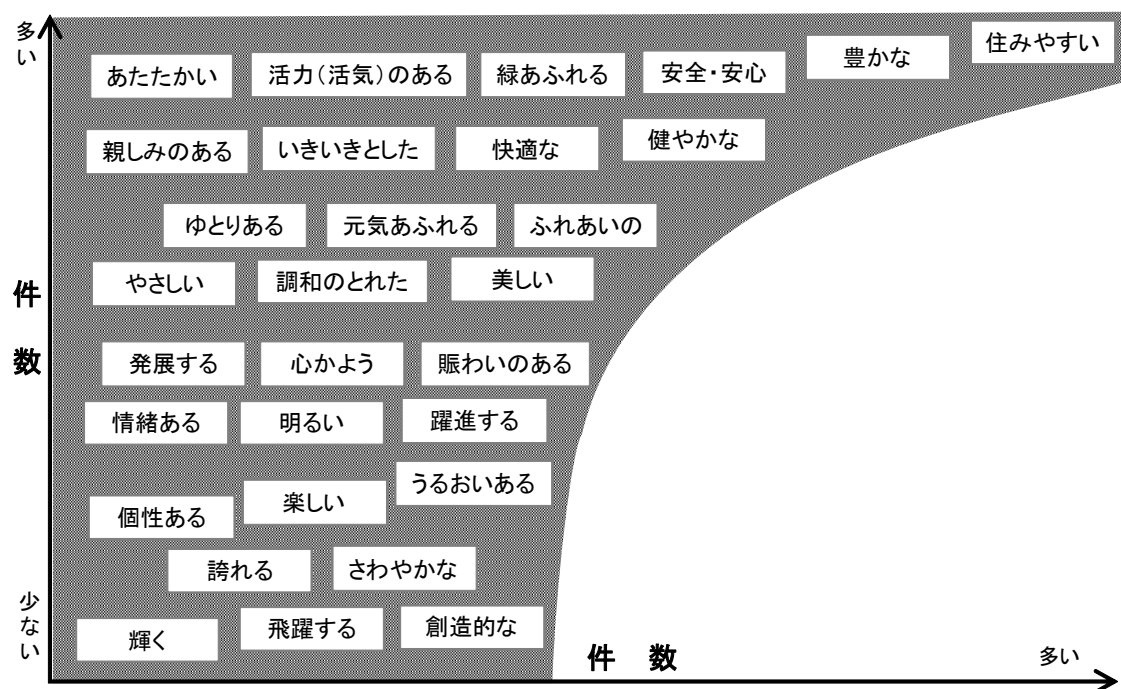
提案内容	想定されるキーワード
人口増・人口を増やす・住みたい街づくり・合併	住みやすさ、定住など
観光・感幸（観光）・国際化・医と観光で職場作り	観光、交流、地域資源、誘客など
地産地消・鴨川ブランド	地産地消、6次産業、ブランドなど
子育てがしやすい・ヤングタウン・元気	子育て、若者、元気
健康長寿・医と観光で職場作り	健康、医療

(3) 抽出されたキーワードの分布イメージ

【キーワード（政策分野）の分布イメージ】



【キーワード（形容詞）の分布イメージ】



2. まちづくりの基本理念

案１：現行計画踏襲型

（１）基本理念の考え方

基本理念はまちづくりの基本的な考えとして大きく変えるものではないことから、これまでの理念を踏襲します。

（２）まちづくりの基本理念（案）

本市において推進するすべての分野におけるまちづくりの理念を次のとおり定めます。この基本理念は、今後の本市のまちづくりにおける重要なキーワードとして、戦略的な取組みに反映され、各分野の施策を貫く軸となる共通の理念とするものです。

【基本理念１】

「交流」のまちづくり

多くの人々が集う、交流に支えられた活力あるまちづくりを進めます。

【基本理念２】

「元気」のまちづくり

住む人も訪れる人も、誰もが健康を増進し、そして元気になる、住んでみたい、ずっと住み続けたいまちづくりを進めます。

【基本理念３】

「環境」のまちづくり

豊かな自然環境の保全と共生による持続的に発展可能なまちづくりを進めます。

【基本理念４】

「協働」のまちづくり

住民と行政による協働のまちづくりを進めるとともに、これを原動力とする自主・自立のまちづくりを進めます。

案2：市民意向反映型

(1) 基本理念の考え方

基本理念は大きくは変更しないものの、市民の意向や社会情勢の変化により、一部のキーワードを変更します。

これまでの理念を踏襲しつつ、市民意識の高まりや国の動向等を踏まえ、「安心」のキーワードを盛り込み、現行計画にある「環境」は、「交流」に必要な資源として記載します。

(2) まちづくりの基本理念（案）

本市において推進するすべての分野におけるまちづくりの理念を次のとおり定めます。この基本理念は、今後の本市のまちづくりにおける重要なキーワードとして、戦略的な取組みに反映され、各分野の施策を貫く軸となる共通の理念とするものです。

【基本理念1】

「元気」のまちづくり

人口減少が進むなか、活力ある地域づくりや産業の活性化とともに、市民一人ひとりが元気になり、住みたい、ずっと住み続けたいまちづくりを進めます。

【基本理念2】

「交流」のまちづくり

豊かな自然環境などの地域資源を活用し、住む人も訪れる人も、地域での交流や観光による交流を図り、多くの人が集い活動する活力あるまちづくりを進めます。

【基本理念3】

「安心」のまちづくり

災害に強く、また、地域の医療・福祉環境に守られ、住民が生涯安心して暮らすことができるまちづくりを進めます。

【基本理念4】

「協働」のまちづくり

産学民官の連携により協働のまちづくりを進めるとともに、市民の主体性を原動力とする自主・自立のまちづくりを進めます。

3. 将来像

案1：キーワード抽出型

(1) 将来像の考え方

各種調査等から、本市の強みとなるキーワードと弱みとなるキーワードを抽出し、強みを活かした取組みと弱みを改善する取組みを踏まえた将来像を設定します。

(2) 将来像（案）

将来像は、本市が目指す姿を示すものであり、本市のまちづくりの象徴となるものです。

自然環境や景観、新鮮な食材などの豊かな「自然」は本市の貴重な地域資源として保全・活用することが重要です。一方で、人口減少や産業の衰退などにより失われつつある市街地や地域の「元気」を取り戻す必要があります。

本市の資源を活かしながら、まちの課題を解決するため、充実した医療・福祉・スポーツ環境を活かした市民の「健康」、地場産業の活性化による地域の「健康」、また、安定した行財政運営による市の「健康」を推進するとともに、観光やスポーツを通じた「交流」、地域コミュニティの形成による地域の「交流」、産学民官の連携による「交流」のまちづくりに取り組み、本市の将来が希望にあふれる「健康交流都市」を目指します。

自然と元気あふれる健康交流都市

～明日への希望にあふれるまちを目指して～

鴨川市の強みを活かし、弱みを改善するまちづくりを進めます。

豊かな自然を活かしたまちづくり

温暖な気候と豊かな自然環境、野山や海岸線などの景観、新鮮で豊富な食材は本市の貴重な財産です。これらの強みを活かし、観光・スポーツを通じた交流や移住・定住の促進につながるまちづくりを進めます。

元気と賑わいを創出するまちづくり

人口減少・少子高齢化が進むなか、地域の賑わいが失われつつあります。活力ある地域づくりや産業の活性化により、まちの賑わいを取り戻し、市民の元気につながるまちづくりを進めます。

“健康交流都市”に向けた取組み

「健康」

- ◆充実した医療・福祉環境による健康社会の構築
- ◆スポーツによる健康づくり
- ◆6次産業化やブランド化などによる地場産業の活性化
- ◆特色ある教育環境による子育てしやすいまちづくり
- ◆行財政運営の安定化 など

「交流」

- ◆観光資源を活かした交流の促進
- ◆スポーツ観光による交流の促進
- ◆地域コミュニティの形成
- ◆産学民官連携によるまちづくり
- ◆移住・定住の促進 など

案2：イメージ共有型

（１）将来像の考え方

目指す方向がイメージでき、市民と共有できる表現を用いて、それを実現する取り組みをイメージした将来像を設定します。

（２）将来像（案）

将来像は、本市が目指す姿を示すものであり、本市のまちづくりの象徴となるものです。

本市は、温暖な気候と豊かな自然環境や新鮮で豊富な食材など、まちづくりの基盤となる貴重な地域資源に恵まれています。これらを活かした産業の活性化や賑わいの創出に向けた活力あるまちづくりと、充実した医療・福祉環境と特色ある教育環境を活かし、市民が健やかに暮らすことができるまちづくりを進め、交流によって人がつどい、賑わいによってまちが輝く、「活力ある健やか環境都市」を目指します。

この将来像の実現に向けて、市民と行政だけではなく、産学民官の連携と協働により、豊かな「ひと」づくりと「まち」づくりを創造します。

人がつどい、まちが輝く、活力ある健やか環境都市
～みんなの協働による豊かな「ひと」・「まち」づくりの創造を目指して～

